

令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷小学校

1 昨年度授業改善プラン成果と課題

(1) 成果

- 教科書や資料集の表やグラフ、写真などの資料を比較しながら読み取る活動を多く取り入れたことで、資料を読み取る力や、さまざまな社会的事象に興味関心をもつことができた。
- 児童の実態とはかけ離れている米作りや自動車工場、漁法などについて、ICT 活用することにより、学習内容の理解が深まり、関心・意欲を高めることができた。
- 米作りや自動車工場など様々な産業の学習を通して、関連する人々の思いや願いを考えさせたり、その工夫をノートやまとめの作品作りに活用させたりすることで、児童が社会的な事象とその要因を関連付けて考えることができた。
- タブレットの活用が、各自が必要に応じて調べたり、オクリンクやスライドなどを活用して自分の考えをまとめたり、個別最適な学びの実現につながられた。
- 食料生産や情報などを中心にとどの単元でも、児童の身の回りや日常的に起きている事象と結び付けて学習を行うことで、児童が日常生活と学習内容を結び付けて考えることができ、主体的に学ぶことができた。
- デジタル教科書やNHK for school 等の資料や動画を活用して、イメージしやすくしたり、日常生活と結び付けたりすることができた。

(2) 課題

- 日本の位置や、地形、海洋名、大陸名、世界の主な国の国名などは、学習しても知識の定着が不足しているように見られた。繰り返しの指導が必要であると感じた。
- 資料から事実を読み取ることはできても、すすんでその他の事象と比較したり、関連づけたりして、思考を広げることができる力は不足しているので、毎回の授業の中で取り入れていく必要がある。
- 発表やレポート、新聞、ポスターにまとめる際に、資料の情報をそのまま抜き出すだけで、必要な情報を整理したり、自分なりに分かりやすく表現したりする力が十分でない児童が見られた。また、事実を踏まえて自分が考えたことを表現することを身に付けさせていく必要がある。(共通事項)

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

※ ◎…目標値を上回った。 ○…目標値と同程度。 △…目標値を下回った。

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	◎		
第5学年	◎	◎ (第4学年時)	
第6学年	◎	◎ (第5学年時)	◎ (第4学年時)

(2) 分析(観点別)

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 目標値よりやや上回っている。知識・技能は、水準並みに身に付いている児童が多い。 「地図記号」の他に「消防団」「警察」「人々のくらしの変化」と	目標値より上回っているが、資料の読み取りや活用の分野での正答率が低い傾向にある。	

いった人に焦点を当てた知識の定着が相対的に低い傾向にある。		
--------------------------------------	--	--

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6年ほどの単元においても全体的に知識の定着が低い傾向にある。5年は目標値より上回っているものが多いが「ごみのしよりと利用」の分野の知識の定着度が相対的に低い。	5年は目標値より上回っているが、資料の読み取りや活用することの分野での正答率が相対的に低い。 6年は資料の読み取りや活用する分野の正答率が高い。	

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 地図記号や用語などの知識については、日常生活と結び付けて考えたり、繰り返し用いたりすることで知識の定着を図る。（指導計画・授業構成） - 人々の工夫や先人の人たちの努力を理解させるために、体験や資料を通して実際に関係する人々に話を聞いたり、調べたりする機会を多く設ける。（指導計画・授業構成） - 消防団や警察の仕事を理解させるために、実際に関係する人々に話を聞いたり、調べたりする機会を多く設ける。（指導計画・授業構成） - まとめの活動では、知識を深めたり、日常生活と結び付けられたいできるように、資料を活用したり、新しく知った言葉を使ったりしてまとめていく。（指導計画・授業構成）	- 学習したことを新聞などにまとめ、分かったことを整理したり、そこから考えられることを比較したりする活動を取り入れる。（指導計画） - 学習したことを新聞などにまとめ、分かったことを整理したり、そこから考えられることを比較したりする活動を取り入れる。（指導計画） - 社会的な事象とその要因とを関連付けて考えられるように、文書資料や表や図、グラフの資料を読み取る活動を行い、読み取ったことをその資料と関連付けて表現する活動を行う。（指導計画・授業構成）	- 学習内容の関心・意欲を高めるために、導入を工夫し、児童の生活と関連付けた学習であると認識させる。また、社会科見学の実施や実物教材の持ち込み、ICTの活用など様々な手法を授業の中で取り入れる。（指導計画・授業構成・学習環境） - 地域の安全や暮らしに関心を持ち、意欲的に活動に取り組めるよう地域の特性を生かした学習を計画し、地域社会の一員として生活していることを意識させる。（指導計画）

（2）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 歴史の学習では、年表を活用し、各小単元での問題意識をもたせたり、学習計画を立てたりする際に活用する。（指導計画・授業構成） - 政治や国際の単元では、グローバル化する国際社会における我が国の役割について理解できるように、統計や年表などの	- 課題に対して妥当な情報を捉えられるように、資料を読む時間を設けたり、まとめたりする。また、捉えた内容から適切に判断できるようしたり、それを表現したりする時間を設ける。（指導計画・授業構成） - 課題を把握してその解決に向	- 学習内容の関心・意欲を高めるために、社会科見学を通して実物を見て学ぶことの大切さを実感させる。（学習環境） - 自分で学習問題・計画を立てる時間をとったり、調べたいことや疑問に思ったことを調べたりする時間をとる。（指導計画・授業構成）

各種資料を提示する。(指導計画・授業構成) ・歴史の学習では、映像資料を積極的に活用し、歴史の背景等をイメージする。(指導計画・授業構成)	けてそれらを説明したり、議論したりできる機会を設定する。(指導計画・授業構成)	・自分の生活と関連づけながら解決していけるようにする。(指導計画・授業構成)
---	--	---